

経営比較分析表（平成30年度決算）

岡山県倉敷市 倉敷市立市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 民間企業出身 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	ド 訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
482,541	14,117	非該当	10：1	

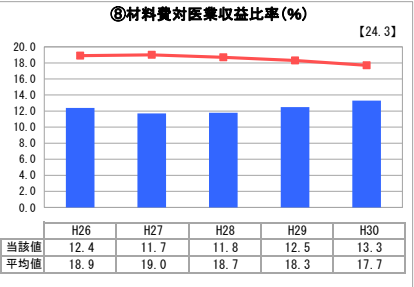
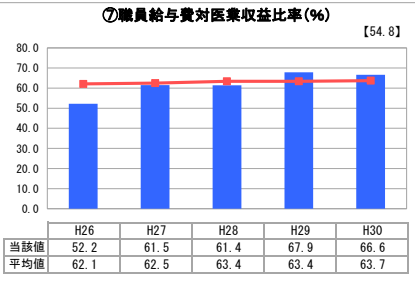
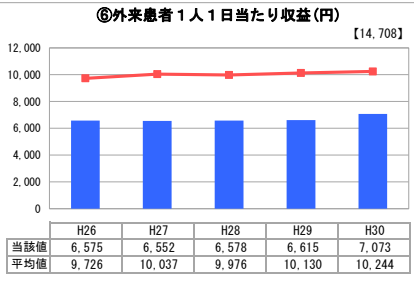
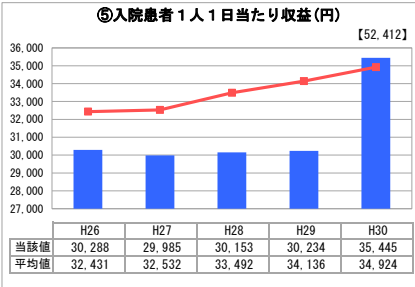
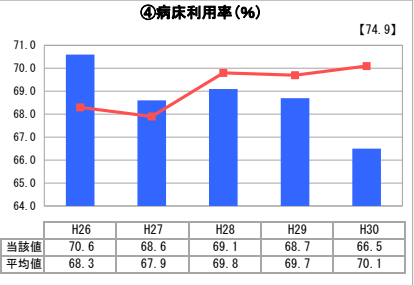
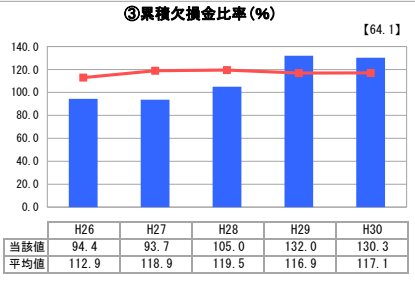
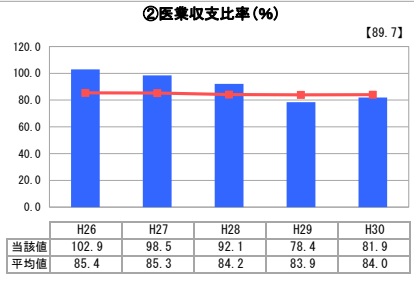
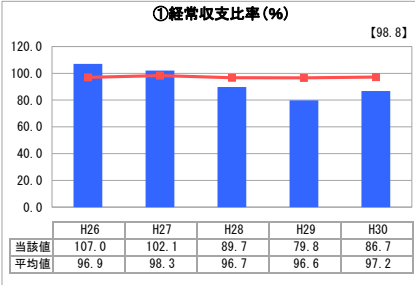
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

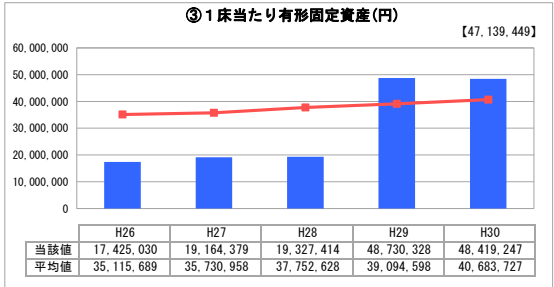
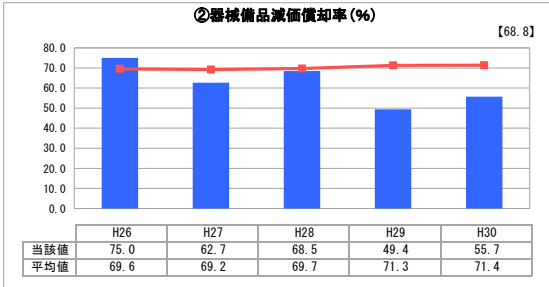
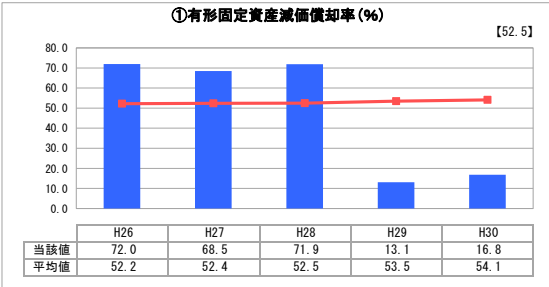
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
198	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	198
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
178	-	178

■ 当該病院値（当該値） — 類似病院平均値（平均値） 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

採算性を求めることが困難である救急医療、周産期医療、小児医療を提供し、市民の健康保持と福祉の増進を図るとともに、予防医療の充実や地域の医療機関や施設と連携し、地域包括ケアを推進するなど、地域の中核病院として地域医療を確保します。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常費用が前年度比0.9%増加したものの、経常収益が前年度より改善し9.6%増加したとにより、経常収支比率は前年度より改善し86.7%となりました。経常収益が伸びた主な理由は、療養病床の廃止やDPC制度の導入による入院単価の上昇、及び外来患者数の増加によるものです。

また、平成30年4月から新病院を開院したものの、旧病院からの移動を見据えた前年度末からの入院抑制や、療養病床の廃止などにより病床利用率は前年度を下回る結果となりました。患者1人1日当たりの収益について、入院は類似病院の平均値を上回りましたが、外来は平均を下回っているため、医療の質を向上して1人当たりの収益を高める必要があります。

2. 老朽化の状況について

昭和48年に建築された本館の老朽化に伴い、平成27年度から病院の建替え工事に着手し、平成30年1月末に建物が完成、4月に開院し、併せて医療機器の更新も進めました。そのため、有形固定資産減価償却率は16.8%、機器備品減価償却率も55.7%と類似病院の平均値を大きく下回っています。

全体総括

経常収支比率は収益の増加により前年度より改善しているものの、類似病院の平均を大きく下回っている状態にあり、今後も人件費の増加や減価償却費の計上、企業債の償還等により厳しい状況が続くものと思われます。

このため、経費削減による経営の効率化に取り組むことはもちろんのこと、病床稼働率の向上に向けて、救急患者の受け入れ体制の充実を図るとともに、地域の医療機関との連携を強化し紹介患者の増加に努めてまいります。

また、施設基準の積極的な取得やDPCコーディングの適正化による診療単価の向上に努め、収益の拡大を図ってまいります。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。